

ワークシート⑪ エラーパターン診断テスト (Work 35)

学籍番号： _____ 氏名： _____ 実施日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

以下の項目を読み、最近体験した、もしくは類似した体験をしていれば○をつけてください。

1	落とし物または忘れ物をした。	
2	つまずいて転びそうになった(転んだ)。	
3	電気のスイッチを切り忘れた。	
4	コップをひっくりかえした。	
5	あとで連絡をしようと思っていたのに忘れてしまった。	
6	手に取ろうと思った物とは違う物を手に取っていた。	
7	待ち合わせまたは予約をすっぽかした。	
8	熱いものをいきなり口に入れて舌をやけどした。	
9	提出物を提出しようと思っていたのに提出し忘れた。	
10	よそ見をしながらお茶をつごうとしてこぼした。	
11	自分がいま何をやりかけていたのかを忘れた。	
12	余計なことを言って後悔した。	
13	友達と別れたあとで用件を言い忘れたことに気づいた。	
14	家の家具か職場(学校)の机などに身体をぶつけた。	
15	会議または打ち合わせの時間をコロッと忘れていた。	
16	電車で飛び乗ったら行き先違いだった。	
17	誰かから連絡があったのでやりかけのことを忘れてしまった。	
18	間違い電話をかけた(違う人に誤って連絡してしまった)。	
19	頼まれていたことをし忘れた。	
20	目的とは違う階でエレベーターを降りてしまった。	

＜結果診断＞

- 奇数項目の丸の数・・・ 個(4 個以上の方は「ぼんやり」タイプ、6 個以上の方は「大ボケ」タイプ)
対 策 ⇒ こまめにメモをとる、チェックリストを見ながら作業を進める、思い出す手掛かりとなるシグナル(タイマー・小指に糸を結ぶ)をセットする。
- 偶数項目の丸の数・・・ 個(3 個以上の方は「あわて者」タイプ、5 個以上なら「ドジ」タイプ)
対 策 ⇒ 手を出す前に一呼吸おく、指差呼称(指で差し示して声を出し、確認してから操作・作業をする)を心がける。

[芳賀繁：失敗のメカニズム―忘れ物から巨大多事故まで。 pp86-88, 角川ソフィア文庫, 2003 より改変]

*あなたに必要な「うっかりミス対策」は、具体的にどのような方法が考えられると思いますか？	*実際に「うっかりミス」が減ったら、どんな自分になれると思いますか？(どんな良いことがありそうですか？)
---	---